

令和3年度「高校生熟議2021」開催

令和4年3月14日(月)新南陽高校において開催された高校生熟議の様子について紹介します。初めに、「新南陽高校、新南陽高生の強み・弱み、地域の現状や課題など」について出し合って話し合い、その内容をもとに「地域とつながり、地域に貢献するために新南陽高校生ができることは？」というテーマで、「各班の企画案作成」に向けて熟議が行われました。8〜9名からなる8グループ(グループ構成例…1・2年の生徒7名、PTA役員1名、教員1名)に分かれ、総合司会者(代表生徒)による全体進行及び各班の議論を促進させる役割のファシリテーター(あらかじめ研修に参加

した生徒会役員)の進行により、テーマに基づき意見を出し合い、議論をし、取組の「企画案」を立案しました。そして最後に、各グループの発表が行われ、「新高(新南陽高校)地域貢献デーを企画し、部活動体験や小学生でも楽しめる催しを行う」「地域の人の積極的な挨拶、地域の清掃や緑化活動等を通して、地域を活性化させる」「新南陽高校の強みをつくる」などの企画が提案されました。参加者がそれぞれの思いを自由に述べ合い、共有し合うことによって、学校のことや地域のことを考えたり、気づいたり、提案したりすることにより実りの多い熟議となりました。



次に、山口中央高校の取組についてです。令和4年3月17日(木)に「校則の在り方について見直しについて私たちにできることは？」というテーマで熟議が行われました。初めに「校則の現状や問題点など」について出し合って話し合い、その内

容をもとに、「各班の企画案作成」に向けて熟議が行われました。7名からなる6グループ(グループ構成例…1・2年の生徒4名、PTA役員1名、学校運営協議会委員1名、教員1名)に分かれ、総合司会者(代表生徒)やファシリテーター(生徒会役員)の進行により、取組の「企画案」を立案しました。そして各グループの発表では、「制服のリニューアル(選択肢を増やし、TPOに応じて選べるようにする)」「服装の自由化(靴下、下着等について生徒が快適に過ごすことができるものを使用を検討する)」「スマホの利用許可(利用可能な時間やアプリ等のルールを決めた上での利用を検討する)」などの企画が提案されました。高校生目線や保護者・地域目線、教員目線で、参加者がそれぞれの思いを自由に述べ合い、共有しあうことによって、校則の在り方や問題点などについて考えたり、気づいたり、提案したりすることで実りの多い熟議となりました。

「高校生熟議」の取組は、新南陽高校では昨年に続き2回目、山口中央高校では今回が初めての取組です。コロナ禍の中、三密防止対策を十分に行った上で実施しました。高校生熟議は、山口県や地元地域における様々な課題について高校生目線で主体的に考えることを通して、生徒たちのコミュニケーション能力を育み、主体的思考力や社会参画意識を高めるということを目的の一つとしている取組です。今後、さらに多くの学校において熟議が開催されますようご検討をお願いします。

なお、熟議に関するお問い合わせは、高P連事務局までお願いします。

